

平成20年2月4日

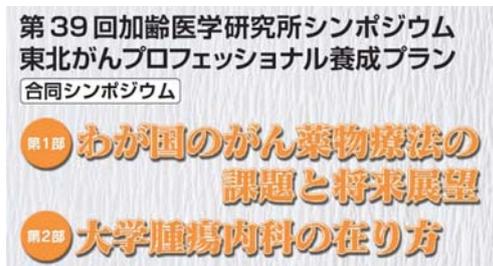
報道機関 各位

東北大学大学院医学系研究科  
同・加齢医学研究所

## 文部科学省補助金事業・東北がんプロフェッショナル養成プランと 加齢医学研究所の合同シンポジウムのご案内

(説明)

この度、平成20年2月8日(金)午後1時から5時(勝山館：仙台市青葉区上杉2-1-50、医療関係者対象・入場無料)に、東北大学加齢医学研究所と東北がんプロフェッショナル養成プラン(<http://www.tohoku-ganpro.jp/>)の主催で、合同シンポジウムを開催することになりましたのでご案内します。テーマは、「わが国のがん薬物療法の課題と将来展望」と「大学腫瘍内科の在り方」です。



(概略説明)

2007年に施行されたがん対策基本法とがん対策推進基本計画により、わが国のがん薬物療法の標準化とそれを担う専門医養成は今や国のがん対策の重要課題です。新しい有効ながん分子標的薬の登場により、最近、がん薬物療法は急速に進歩していますが、わが国では、がん薬物療法の担い手(専門医)は欧米と比較して大幅に不足しております。がん対策推進基本計画を推進し、がん医療を均てん化するためには、がん薬物療法に関して医学部学生から専門医養成までの教育体系が必要です。そこで合同シンポジウム第1部では、急速に進歩しているがん薬物療法(特にがん分子標的薬)を取り上げ、その動向や臨床開発に関する諸問題について国内トップクラスの腫瘍内科系教授陣が講演いたします。合同シンポジウム第2部では、最近、全国の医学部に新設されはじめた腫瘍内科講座の在り方について取り上げ、その役割、現状と将来の方向性を探ります。最初に招請講演として、世界で最もがん医療が進んでいるMDアンダーソン・がんセンターの腫瘍内科医・上野直人氏が米国における腫瘍内科医の実情を紹介し、引き続いて、国内の新設・既設腫瘍内科系教授陣によるパネルディスカッションを行うものです。腫瘍内科系教授が多数集まって、これらのテーマを議論することは、初めての試みであり注目されています。

お問い合わせ先

東北大学加齢医学研究所 担当 石岡千加史 022-717-8543

東北大学大学院医学系研究科 担当 医学部・医学系研究科教務室長 信坂 健 022-717-8008

第 39 回加齢医学研究所シンポジウム  
東北がんプロフェッショナル養成プラン  
(東北大学医学系研究科)  
合同シンポジウム

第 1 部「わが国のがん薬物療法の課題と将来展望」  
第 2 部「大学腫瘍内科の在り方」

日時：2008 年 2 月 8 日 (金) 13 時から 17 時

会場：勝山館 (仙台市青葉区上杉 2-1-50)

(ポスターには 16 時半までとありますが、正しくは 17 時までです)

謹啓 時下益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。この度、平成 20 年 2 月 8 日 (金) に加齢医学研究所 (シンポジウム) と東北がんプロフェッショナル養成プランの主催で、合同シンポジウムを開催することになりましたので、ここにご案内申し上げます。

さて、2007 年に施行されたがん対策基本法と同年 6 月のがん対策推進基本計画により、わが国のがん薬物療法の標準化とその医療水準の向上とそれを担う専門医養成は今や国のがん対策の重要課題に位置付けられています。そこで第 1 部では、急速に進歩しているがん薬物療法がん薬物療法 (特になん分子標的薬) を取り上げ、その動向や臨床開発に関する諸問題について臨床腫瘍学系の教授を招請して御講演いただきます。第 2 部では、最近、全国の医学部に新設されはじめた腫瘍内科 (または臨床腫瘍学) 講座の在り方について取り上げ、その役割、現状と将来の方向性を探るため、特別講演として MD アンダーソン・がんセンターの腫瘍内科医・上野直人氏に米国における腫瘍内科医の実情をご紹介いただき、引き続いて、腫瘍内科系教授陣によるパネルディスカッションを行うものです。

御多忙のところ誠に恐縮ですが、是非、ご参加くださいますようお願い申し上げます。  
末筆ながら、先生のご健勝をお祈り申し上げます。 謹白

主催者：

東北大学加齢医学研究所長

福田 寛

東北大学加齢医学研究所教授

石岡千加史

東北大学副学長・医学系研究科長

菅村和夫

東北大学病院がんセンター長

山田章吾

講演者・司会者

秋田弘俊（北海道大学大学院 医学研究科 腫瘍内科学分野）

上野直人（Associate Professor of Medicine and Associate Internist, Section of Molecular Hematology and Therapy, Department of Stem Cell Transplantation and Cellular Therapy, Division of Cancer Medicine, The University of Texas M. D. Anderson Cancer Center, Houston, Texas 米国テキサス大学 MD アンダーソン・がんセンター）、

高後裕（旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御学分野）

西條康夫（弘前大学大学院 医学研究科 腫瘍内科学講座）

佐々木康綱（埼玉医科大学 国際医療センター 包括的がんセンター 腫瘍内科）

白尾國昭（大分大学医学部 臨床腫瘍医学講座）

貫和敏博（東北大学医学系研究科 医科学専攻 内科病態学講座 呼吸器腫瘍学分野）

張替秀郎（東北大学医学系研究科 血液・免疫病学分野）

柳原一広（京都大学大学院 医学研究科 探索臨床腫瘍学講座）

矢野聖二（金沢大学 がん研究所 腫瘍内科研究分野）

吉岡孝志（山形大学医学部 器官機能統御学講座 臨床腫瘍学分野）

（敬称略、アイウエオ順）

主催者：

菅村和夫（医学系研究科長・東北大学医学系研究科 医科学専攻 病理病態学講座免疫学分野）

福田寛（加齢医学研究所所長・加齢医学研究所 加齢脳・神経研究部門 機能画像医学研究分野）

山田章吾（東北大学病院 がんセンター）

石岡千加史（東北大学加齢医学研究所 癌化学療法研究分野）

## プログラム

総合司会（第1部・第2部）：柴田浩行

第1部 シンポジウム 「わが国のがん薬物療法の課題と将来展望」

主催：東北大学加齢医学研究所

共催：東北がんプロフェッショナル養成プラン、橋渡し研究支援推進プログラム

後援：加齢医学研究所研究会同窓会

開会挨拶：加齢医学研究所長 福田 寛

司会：貫和敏博（東北大）、張替秀郎（東北大）

- 講演 1 最新の分子標的治療薬 石岡千加史（東北大）
- 講演 2 肺癌の分子標的治療—進展と課題 秋田弘俊（北大）
- 講演 3 大腸癌の分子標的治療—進展と課題 吉岡孝志（山形大）
- 講演 4 血液腫瘍の分子標的治療—進展と課題 高後 裕（旭川医大）
- 講演 5 がん遺伝子治療—進展と課題 西條康夫（弘前大）
- 講演 6 がん薬物療法開発における諸問題 佐々木康綱（埼玉医大）

（コーヒーブレイク）

## 第2部 シンポジウム 「大学腫瘍内科の在り方」

主催：東北がんプロフェッショナル養成プラン

共催：東北医学会

後援：加齢医学研究所研究会同窓会、NPO 法人東北臨床腫瘍研究会

開会挨拶：東北大学副学長・医学系研究科長 菅村和夫

### 1. 招請講演「米国における腫瘍内科医の役割」

司会：山田章吾（東北大学病院がんセンター長）

演者：上野直人（MD アンダーソン・がんセンター）

### 2. パネルディスカッション「大学腫瘍内科の役割」

司会：秋田弘俊（北大）、石岡千加史（東北大）

パネリスト：

秋田弘俊（北大）、西條康夫（弘前大）、矢野聖二（金沢大学）、  
吉岡孝志（山形大）、柴田浩行（東北大学）、柳原一広（京都大）、  
佐々木康綱（埼玉医大）

閉会挨拶：東北がんプロフェッショナル養成プラン統括責任者  
東北大学病院がんセンター長 山田章吾

# 第39回加齢医学研究所シンポジウム 東北がんプロフェッショナル養成プラン

合同シンポジウム

第1部

## わが国のがん薬物療法の 課題と将来展望

第2部

## 大学腫瘍内科の在り方

日時 **2008年2月8日(金) 13:00~16:30**

場所 **勝山館** 仙台市青葉区上杉2-1-50  
TEL:022-213-9188

**参加費無料**

第1部

### わが国のがん薬物療法の課題と将来展望

シンポジウム1

がん分子標的治療の時代

シンポジウム2

がんTR推進における諸問題

第2部

### 大学腫瘍内科の在り方

招 請 講 演

米国における腫瘍内科医の役割

パネルディスカッション

大学腫瘍内科の役割

#### 招待講演者

秋田 弘俊 (北 大)  
佐々木 康綱 (埼玉医大)  
中川 和彦 (近畿大)  
柳原 一広 (京都大)

上野 直人 (MDアンダーソン  
がんセンター)  
白尾 國昭 (大分大)  
貫和 敏博 (東北大)  
矢野 聖二 (金沢大)

高後 裕 (旭川医大)  
曾根 三郎 (徳島大)  
張替 秀郎 (東北大)  
吉岡 孝志 (山形大)

西條 康夫 (弘前大)  
田村 和夫 (福岡大)  
南 博信 (神戸大)  
(敬称略)

第1部

主 催：東北大学加齢医学研究所

後 援：加齢医学研究所研究会同窓会、東北がんプロフェッショナル養成プラン

第2部

主 催：東北がんプロフェッショナル養成プラン

後 援：加齢医学研究所研究会同窓会、NPO 法人東北臨床腫瘍研究会

連絡先

仙台市青葉区星陵町4-1 東北大学加齢医学研究所癌化学療法研究分野

TEL. 022-717-8543 FAX. 022-717-8548

世話人 石岡千加史、事務局 柴田浩行(秘書 門脇真理、星 杏奈、庄司雅子)